

第2号様式（第11条関係）

意見公募手続（パブリックコメント）に対する意見等の概要及び検討結果

- 1 案件名：鹿屋市人口減少対策ビジョン（案）について
- 2 意見の募集期間：令和4年12月28日～令和5年1月27日（31日間）
- 3 意見提出者：4人
- 4 意見数：4件

〈検討結果区分〉

A：策定案に反映できるもの	件
B：既に盛り込み済みのもの	1件
C：今後の参考となるもの	2件
D：反映できないもの	0件
E：その他感想や質問など	1件
計	4件

番号	意見等の概要	検討結果の区分	意見等に対する検討結果
1	<p>まず地域の車の渋滞を緩和させる。今後、便利な町、人口減少が3万人位になっても、一定期間渋滞が起きるのが毎日となると大変なので、特に救急車の出勤、消防車の出勤、輸血車の発動の場合、特定の時間に起きるということは対応が大惨事になりかねない。都会に急激に発展した地域を総点検して買い取る所はしっかりお願いして拡張なり、まっすぐにするなり、国にお願いする。特に通行が直線の交差点でも穴ぼこや横断の線が消えている所があります。特に大きな道路から小さな道路に入る所がひどいのと、あと多少の起伏があります。これを上昇させて平（たいら）にするか、それとも低くして平（たいら）にするか？予算との兼ね合いを見ながら、入札もあると思うが、道路をかのや理想の道路設計生涯計画（仮）なるものを公募する。特に学校の入り口付近の通行はほぼ車な為、車と歩道、人間が毎日成長、そ</p>	E	御意見として承り、今後の市政運営の参考とさせていただきます。

番号	意見等の概要	検討結果の区分	意見等に対する検討結果
1 続き	<p>して老化しても歩きやすい。タクシーやバス、鉄道にも乗りやすいシステムかのやライフ（生活）ステーション（駅）（仮）公募、もしくはアイデアコンテスト（仮）、かのやロード（道路）フェスティバル（仮）（フェスティバルの一部は道路費用にまわせないか？税務署と国に相談する）ここは音が静かな所が多いので、道路に絵が描けないか検討してみる。かのや運転中睡眠防止フェスティバル＋クラウドファンディング＋かのや宝くじ（1枚500円～千円くらい）（仮）一部の費用も収益へ道路づくりにまわせないか国と相談する。また、市民は眠らない街と寝れる街の両立を図れるように、睡眠対策に着手する。今後、眠らない街は食事回数の増加、飲食の増加、膨大な高カロリー食、メタボ化、夏はクーラー無しではいけない運動不足、糖尿病の増加、血液の循環、人口移植手術の増加、そして赤ちゃん産むための病院の送り迎え、かのやベビーロケットバス（仮）（トイレ以外ノンストップ、ある特定場所から乗って通院する、入口に昇降機が搭さいされていて車イスでも乗れるバスもしくはベビーcarでも立ったまま乗れるし、座っても乗れるバス開発する。コンテスト＋フェスティバル＋クラウドファンディング＋かのや宝くじ（仮）財源の一部を確保する）それと無毒化出来るゴミ循環システムかのやゴミ無毒化循環（サイクル）システム（仮）、バス運転手を増やせるようにトイレ以外は止めない。ロケットバス（仮）、例えば店舗どうしが行き来するワープバス（仮）、あと眼科など治療を受けるためのバスかのやホスピタルバス（仮）を考えてみる。問題は現場を見て確認すること。</p> <p>【意見については、原文のとおり記載】</p>		

番号	意見等の概要	検討結果の区分	意見等に対する検討結果
2	<p>鹿屋市内の高等学校に勤めています。私自身も鹿屋市の出身です。</p> <p>日々、十代の子供たちと接し、そして自身の十代を振り返って感じるのが、「休みの日に行く所が無い」という事実です。</p> <p>友人、または恋人と遊びに出かけ、半日を過ごせるようなスポット、あるいは商業施設が、鹿屋市には存在しません。</p> <p>これらは遠因として、「地元は楽しくなかった」という感覚を喚起し、十数年の擦り込みがリターンの減少に繋がっていると思えてなりません。</p> <p>多感な十代の頃に「楽しくなかった」「遊ぶ場所がなかった」場所に、若い夫婦が戻ってくるのでしょうか。また、そこで子を育てたいと思うのでしょうか。市の人口減少対策ビジョンを拝見すると、移住や子育て支援への記載が多く見られました。</p> <p>勿論それらも重要ではありますが、何よりも地元で生まれた根っからの鹿屋っ子が、しっかり地元に戻ってくる、あるいは地元を離れない、そういった街を目指すこともまた、大切ではないでしょうか。</p> <p>端的に言えば、イオンモールなどの大型商業施設の誘致といった案です。</p> <p>恋人ができてもらうにデートスポットが無いこの街ですが、鹿屋っ子の一人として、人口減少を緩やかにしたいと切に願っています。(無論、リナシティやかのやばら園などがありますが、十代の子供はあまり足が向いていると思えません)</p> <p>【意見については、原文のとおり記載】</p>	C	<p>大型商業施設等の誘致については、人口基準や商圈、交通事業など様々な条件のもと、進出する民間企業側の営業戦略上の判断となるため、本市の意向だけでは難しいものと認識しています。</p> <p>本ビジョンにおいては、「農」や「食」、「自然」など本市の魅力や特徴を生かした「鹿屋らしさ」を味わってもらえるような取組を推進し、本市への誇りや愛着等を醸成していくこととしています。</p>

番号	意見等の概要	検討結果の区分	意見等に対する検討結果
3	<p>人口の維持を掲げておられるのでそちらをメインで意見を書かせていただきます。</p> <p>まず死亡者数に関しては高齢化率の関係で致し方ない部分も大きい ため、最期まで地域で生活できるよう今後とも地域包括支援センター 等の努力に期待いたします。</p> <p>人口を増やすためにも高齢者の市外からの転入を進めても意味はあ りません。</p> <p>現在若年層向けに行われているイベント等に尽力されているのは素 晴らしいと思います。</p> <p>しかし、実際にそれらに参加する人数は如何でしょうか？</p> <p>また、イベントは毎日のようにあるわけではありません。</p> <p>住まなくても、その日だけ周辺市町村から足を運べば済みます。</p> <p>24時間300日以上はイベントと関係ない普通の生活を送るの で、そちらへの支援をしっかりと固めるべきです。</p> <p>高校生が大学へ進学し、また鹿屋に戻って就職したいと思えるか。</p> <p>また、高校を卒業して地元就職したいのか。市外の方が転職の際 に鹿屋市で働いてみたいと思えるのか。</p> <p>そこが充実すれば自然と転入数、出生数の増加に繋がります。</p> <p>私は昨年仕事を退職し、再就職として垂水市で勤務しております。</p> <p>現在は鹿屋市に住んではおりますが、仕事次第ではどうなるかはわ かりません。</p> <p>就職活動の際にそういった人間が積み重なると、若年層の流出に繋 がってしまうことをご理解頂きたいです。</p> <p>【意見については、原文のとおり記載】</p>	B	<p>ご指摘のとおり、本市においては若者の進学や就職に伴う市外転出 が顕著となっています。</p> <p>本ビジョンにおいては、一度市外に出ても、鹿屋に戻ってきたいと 思えるように、また他市町に住む人から移住先として鹿屋を選んでも らえるように、若者に向けた情報発信に力を入れるとともに、起業や 移住なき転職など多様な働き方への支援のほか、新たな工業団地の整 備による魅力的な雇用の場の創出に取り組むこととしています。</p>

4	<p>人口の流出を防ぐ為に、鹿屋市で子供を産み、育てたい、と思うようになる事が重要だと思います。</p> <p>現在の状態では、税金が上がる不安、年金、保険料、老後と不安を感じる事が多いので、子育て世代や、若い夫婦の経済面の支援の強化、保育士の人材確保、子供の人権を守れる環境の充実と理解を深める為の取組等、鹿屋市独自の条例を作る等して、安心して、子供を産み育てる事が出来る鹿屋市になれば良いと思います。</p> <p>よろしくお願ひします。</p> <p>【意見については、原文のとおり記載】</p>	C	<p>本ビジョンにおいては、少子化を抑える「自然減対策」として、母親の産後ケアや乳幼児の短期預かり施設の充実など、子育て世帯を支える体制を整備するとともに、新婚世帯や子育て世代への経済的支援を行い、安心して子どもを産み育てられる環境づくりに取り組んでいくこととしています。</p> <p>条例制定については、御意見として承り、今後の市政運営の参考とさせていただきます。</p>
---	---	---	--